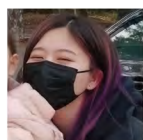


修了生からのメッセージ



今まで考えもしなかった
未来を手に入れた

竹本 七海さん
(2019年度修了生)



1年間のハッカソンで
IT業界のイメージが変わった!

高橋 実来さん
(2022年度修了生)

SecHack365に参加するまでの経緯は?

元々 ITと経営に興味があり、悩んだ末に経営と社会心理学を学べる大学に進学しました。一方で、エンジニアへの夢をあきらめきれず、卒業後はアルバイト先だったIT企業に就職しました。当時、セキュリティ系の育成イベントに応募できるのは大抵が学生までだったのですが、SecHack365は25歳以下なら社会人でもOKだったのが渡りに船でした。セキュリティのことは正直何も分からなかったのですが、こんなチャンスは他にないと思い、自分でも出来そうな応募課題がないか探しました。そして思索駆動コースの応募課題であれば、普段の業務や大学で学んだ社会心理学を活かした内容で取り組めると思いました。合格発表後は、すぐに当時の上司を説得しました。上司も会社と掛け合ってくれて、会社に交通費や宿泊費を援助してもらって参加できることになりました。

修了後の変化は?

参加当初はセキュリティをよく理解していなかったため、今思うと的外れな質問ばかりしていました。それでも、1年間も学べば何かが変わるはずと、ポジティブな気持ちでハッカソンに臨みました。会社では、自分が学んだことを活かしてセキュリティ目線の業務改善に取り組みました。SecHack365を修了した後は、理工学を学ぶために通信制の大学に通い始め、セキュリティベンダーに転職しました。転職時の面接では、採用担当者の方にSecHack365のゼミで毎週作成していた資料を見てもらい、自分のセキュリティに対する熱意を評価してもらえました。入社後は5年ほどセキュリティ関連業務に従事しました。現在はセキュリティの要でもあるインフラ系を自分の強みにしようとSIerに転職して、日々モノづくりに励んでいます。このように、以前の自分であれば描けなかったキャリアに進むことができたのは、SecHack365、そして未熟なりに勇気を出して応募したあの時の自分のお陰だと思います。

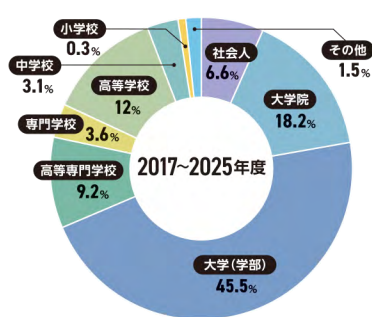
SecHack365に参加するまでの経緯は?

私のエンジニアとしてのキャリアにおける最大の転換点は、SecHack365での1年間の長期ハッカソン経験にあります。それまでの私は、プログラミングとは画面に向かって黙々とコードを打ち込む孤独な作業であると誤解していました。しかし、全国から選抜された仲間と共に開発を進める中で、その認識は劇的に覆されました。ハッカソンの現場で最も多くの時間を費やし、そして最も重要だと感じたのは、チームメンバーと顔を見合わせ、熱量を持って議論を交わす時間だと実感したからです。「優れたプロダクトは、洗練されたコードだけでなく、深い対話と相互理解から生まれる」。この体験は、私にIT業界が単なる技術者の集まりではなく、一つの有機的なコミュニティであることを教えてくれました。また、参加するために学校側を説得して公欠を取得したことや、自分の経験から翌年の後輩の参加に繋げた経験は、自ら環境を切り拓く行動力の礎となっています。

修了後の変化は?

現在大学で学んでいる中でも、こうした経験が根底にあります。単なる計算機科学にとどまらず、「人とデータ」の関係性を探求することにおいて、技術をユーザーがいかに探索・受容し、活用するかという人間中心の視点を養っています。システムを構築する工学的な技術力と、それを扱う人間への深い洞察。この両輪こそが、真に社会に貢献するエンジニアには不可欠であると確信し、修了後も日々知見を深めています。また、大学と並行して企業にてモバイルエンジニアとして勤務し、理論の実践に取り組んでいるのですが、この点でも単に仕様通りに機能を実装するのではなく、デザイナーや他のエンジニアと密に連携し開発を進めるスタイルは、今の私の大きな強みとなっています。技術力と協調性、そして他者にはない独自の創造性を武器に、今後もデジタルとアナログの境界を溶かし、人々の生活を豊かにする新しい価値を創造し続けていきたいと思っています。

受験生の属性



応募数と受講者内訳 (2025年度)

応募数 (2025年度)	
応募者	118人
受講者	40人

受講者内訳	
年齢(合格時)	成年 30人 / 未成年 10人
性別	男性 31人 / 女性 9人
所属別	社会人 3人 / 専門学校 1人
	大学院 2人 / 高等学校 7人
	大学(学部) 23人 / 中学校 2人
	高等専門学校 1人 / その他 1人

SecHack365 募集概要

応募資格：日本国内に居住する25歳以下の方
募集人数：40名程度
募集期間：毎年4月～5月予定
受講費用：25歳以下は受講・指導費用無料

学生*及び収入の無い方は、集合イベントを実施する場合の交通費・宿泊費等の実費相当分を補助します。社会人の場合は交通費・宿泊費等は補助対象外になります。
*学生とは学校教育法に規定される学校に在籍の方が対象になります。

お問合せ

国立研究開発法人情報通信研究機構 サイバーセキュリティ研究所
ナショナルサイバートレーニングセンター SecHack365 事務局
✉ sechack365@ml.nict.go.jp
🌐 https://sechack365.nict.go.jp/



SecHack365

Change the World!

サイバーセキュリティで
世界を変えていこう

次世代のサイバーセキュリティを担う
U-25若手セキュリティイノベーター育成プログラム

SecHack365
公式サイトをチェック ▶
🔍 セックハック



磨く—「技術」

一線級の研究者・
技術者陣による指導

築く—「経験」

モノづくりは
様々な経験の連続

作る—「仲間」

全国から集まった
仲間とつながる

SecHack365の特徴

SecHack365とは、“SECURITY +HACKATHON 365 DAYS”を意味する名称で、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)主催の25歳以下を対象とした長期ハッカソンです。

SecHack365では、他にはない365日の長期ハッカソンによるモノづくりの機会を提供することで、「セキュリティノベーター」としてセキュリティの様々な課題にアイデアで切り込める人材の育成を目指しています。

受講生はトレーニーとして、大学や企業など様々な分野で活躍するトレーナーから、継続力や発想力、アイデア、倫理・法律といった多様な観点での指導を受けながら、モノづくりに取り組みます。

トレーニー同士作品を見せ合うことで切磋琢磨し、ひたすら「作る→見せる→意見をもらう」を繰り返しながら、一人では開発しえなかった作品を作り上げていきます。



複数回の集合イベント

アイデアソン・ハッカソンのイベントを年間複数回、オンラインとオフラインで開催することで、継続的に開発を進めます。



学生向け支援

学生は集合の際の必要経費を全額補助*。学業との両立についての相談や進路相談も可能です。
* 学生・収入がない方は旅費宿泊費等の実費相当分全額補助



NICTならではの

サイバーセキュリティの研究開発のノウハウや、実際の貴重な攻撃データ等を活用できる“NONSTOP”が利用可能。



多様な講義内容

法律の専門家による法律と倫理を講義で取り入れ、早い時期からインプットを実施。マンガラットを用いた習慣化やアイデア発想などトレーナーによる様々な講義を行います。



オンライン指導

イベント時だけではなく、受講期間中はオンラインコミュニティに全員が参加します。指導するトレーナーやアシスタントとオンラインでつながりながら、作品作りに取り組むことが可能です。

SecHack365の365日

トレーニーになったら、まずは取り組みたいテーマや内容を決めて、開発を進めます。イベントで直接レビューをもらい、「作る→見せる」を繰り返して作品を作り上げていきます。審査を経て最終的に成果発表会で一般に公開するまでがゴールです。

2025年度の例



トレーナー紹介

様々な分野で活躍する専門家や研究開発・セキュリティのスペシャリストが、トレーナーとして技術的観点だけでなく継続力や発想力といった観点での指導やレビューを行います。イベントでは外部からゲスト講演者も招待します。

横山 輝明 情報通信研究機構 トレーナー長からのメッセージ

SecHack365では、1年かけてセキュリティに関連する作品制作に取り組むことで、新たな技術を生み出し、社会に届ける力をつけることができます。40名の仲間と専門家のトレーナーたちとの協創にぜひご参加ください!

SecHack365の
トレーナー陣は
こちらでCheck!



修了後の活動

SecHack365の強みは修了生ネットワークの強さです。イベント参加やオンラインで培ったトレーナー・トレーニーとの交流は修了後も続きます。

- ▶ 年に1回の修了生イベント「SecHack365 Returns」を毎年開催
- ▶ NICT主催イベントへの参加、展示会出展などの発表支援
- ▶ 修了生アシスタントとして起用
- ▶ 招待修了生としてイベント招待

SecHack365のここがおすすめ



石田 優希さん (2023年度修了生)

SecHack365には、多様な強みを持つ方々と交流し、互いに刺激を受けながらモノづくりに挑戦できる環境があります。分野や立場を越えた議論を通じて視野が広がり、新たな発想や学びを得られる点も大きな魅力です。



神原 礼華さん (2022年度修了生)

SecHack365では、興味分野や考え方の異なる人たちと出会い、刺激を受けながら成長できました。「やりたいこと」を温かくサポートしてくれる環境があるので、ぜひ自分の想いを込めて応募してみてください。

修了生
作品は
こちら



川杉 倫太郎さん (2024年度優秀修了生)

成果発表会の準備は大変でしたが、多くの人に作品を見てもらい様々な議論ができて楽しかったです。優秀作品発表も練習のお陰で落ち着いて話せて、終えた時の達成感は格別でした。



GSLBに特化した権威DNSサーバ用ソフトウェア「fubuki」

